



奥富喜一

2017年12月市議会（12月5日～12月22日）の概要を報告します。日本共産党福生市議団は、安倍政権の悪政の防波堤となって市民を守る福生市政であるべきとの基本姿勢で取り組みました。一般質問の詳しい内容については、福生市のホームページを開き、福生市議会→インターネット中継とクリックしてご覧ください。



池田公三

12月市議会
一般質問

横田基地について

オスプレイの高まる事故率と整備不良

横田基地にも配備が予定されているオスプレイの事故が急増しています。2016年12月13日に沖縄県安部の海岸に墜落事故を起こして以来、昨年1年間で9件にものぼります。10万飛行時間当たりの事故発生率も2012年4月時点の1.93を大きく上回り3.27になっています。オスプレイは5年に1回の分解・点検修理が必要とされていますが、2012年7月に沖縄に配備された12機は1機も完了していません。解体・修理が完了するまでは、飛行中止を要請すべきと質しました。市は、都と5市1町による総合要請で「安全対策の徹底」を要請した、今後も強く要請していくと回答するにとどまりました。

重大事故の危険が増す横田基地

横田基地での訓練がジェット戦闘機、ステルス戦闘機、大型ヘリ、人員・物量投下訓練など強化されています。そして、横田基地飛来機のうち4機もその後に事故を起こしています。いつ、横田で事故を起こすかと不安です。実際、11月15日、パラシュートから物がはずれて滑走路に落下する事故（写真右）がありました。人口密集地に囲まれた横田基地での飛行訓練は直ちにやめるべきです。



北朝鮮対策にJアラートは無効、核兵器禁止条約と話し合いこそ

Jアラートは北朝鮮からの攻撃に対しては、時間的にも間に合わない。避難効果は皆無に等しい。核戦争は絶対避けなければなりません。唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止・廃絶に向けて努力すること、北朝鮮に対してもこの立場から、話し合いでの解決努力することこそが最も有効な解決策です。



1958年、ジョンストン島上空で行われたハードタックI作戦の核実験「ティーク」3.8メガトン

横田基地友好祭での法令遵守を

今年の横田基地友好祭の会場で、来場者に銃・砲などを自由に触らせる行為、明らかな銃刀法違反の展示行為がありました。平和委員会から提供いただいた写真には子どもを抱え上げ、機関銃の引き金を引かせている写真があります。基地の中は治外法権で日本の法律が及ばないとしても、子どもたちへの教育的見地からも、教育委員会として米軍に改善を申し入れるべきと考えます。

住民意見を組み込んだ厳格な環境評価を

横田基地では、アメリカの環境評価基準では認められない傍若無人な飛行訓練が行われています。11月と12月にはホーネット艦上戦闘機、戦闘攻撃機4機が飛来して次々とタッチアンドゴーを繰り返し、その騒音は114.5デシベルに達しました。アメリカの環境評価基準では、周辺住民の日常生活への影響の外、動植物の生態系への影響も評価し、周辺住民の意見聴取も行います。日本はアメリカの属国ではないのですから、横田基地についても厳格な環境評価を求めるべきです。

市内のバリアフリーへの取り組みを

東福生駅のエレベーター設置について、9月議会での私の質問に対して「JR東日本八王子支社との協議を開始した」との回答でしたが、その進捗状況と早期実現を求めました。

福生駅西口タクシー乗り場付近の段差解消についても、9月議会での質問に続けて要望しました。

新興多摩街道 志茂歩道橋付近の危険解消を

新興多摩街道（都道）志茂歩道橋付近で、2月1日夜7時ごろ、高齢の女性が道路を横断中に車にはねられ、全治3か月の重傷を負う事故が発生しました。ここは以前から乱横断が多く事故が心配されていた場所です。この歩道橋は、高齢者には利用が困難、利用者数も基準以下、通学路にもなっていない、橋脚や階段が歩行者や自転車にとって危険な障害物になっている、この交差点を通過する車両にとっても視認性を妨げている…など、大きな問題になっていました。

今後の事故を防ぐためにも、歩道橋を撤去し、横断歩道の設置と近隣の信号機との連動信号機を設置することを求めました。市は、町内会等の要望を受けて、東京都や福生警察署に要望していくと回答しました。（その後、一部安全対策を実施）



その後一部改善された志茂歩道橋

陸橋から内出交番前交差点付近までの渋滞解消を

陸橋通り、陸橋から内出交番前交差点までの約300mにわたって、朝夕の同じ時間帯に交通渋滞が発生している。現状は、陸橋通り内出交番前交差点付近で、拝島駅方面は直進と右折の2車線と間にゼブラゾーン、あきる野方面は直進の1車線、計3車線となっている。

このゼブラゾーンをなくせば、道路拡幅しなくても拝島駅方面を3車線（直進2車線、右折1車線）とすることができるのではないか、と提案しました。

市は、道路構造令による車線の最低幅員や警察との交通協議などの課題があるが、今後の取り組みの参考とさせていただきたい、と回答しました。

学校給食費補助（牛乳代の3%）の見直しを

中学校給食が開始されたことは大変喜ばしいことですが、同時にどの子ども家庭の経済状況にかかわらず安心して給食を食べられるようにするには、無料化することがベストですが、給食費の一部補助も有効です。福生市は消費税が初めて導入されたとき、牛乳代の消費税分3%の補助を実施し、その後消費税が5%、8%に引き上げられた後も、そのまま3%で続いています。金額にして26円/月です。中学生では4600円/月の保護者負担ですから、経済的補助の効果はほとんどありません。国も幼児教育無償化や教育負担軽減を言い、東京都でも、自民、公明、民進党がそろって学校給食費無償化を選挙で公約し、共産党も無償化を展望して都として4分の1補助（1000円）を提案しています。

市が4分の1補助、都も4分の1補助、国が2分の1補助で、無償化が実現できます。私は、そのような展望をもって、福生市の現在の26円補助を1000円補助に見直すことを求めました。

教育委員会は、国や東京都の動向について情報収集に努めるとしたものの、26円補助の見直しは考えていないと回答しました。

学校教職員のストレスチェック改善を

日本社会の多くの労働現場で、長時間労働やパワハラなどを背景とした過労死や自殺といった悲惨な事件が多発するようになりました。その現状を解決するために、平成27年12月労働安全衛生法が改正され、50人以上の職場に配置される産業医の職務として、全ての労働者についてストレスチェックを行い、必要な面接指導を行うこととされました。私は、福生市の学校教職員についても改正法に基づき、ストレスチェックを行うよう求めました。市教育委員会は、学校規模に関係なく市内すべての学校で、法改正の趣旨を踏まえ、ストレスチェックを実施し、心の健康管理に役立てていくと回答しました。



12月市議会では、12件の議案、1件の議員提出議案、3件の陳情、1件の諮問が審議されました。

日本共産党は安倍政治の悪政から福生市民の安全と暮らしを守る福生市政になるよう意見を述べ、態度を表明しました。

	主な議案や陳情	議案・陳情に対する各会派の態度					備考
		共産党	正和会	公明党	生活ネ	市民派	
議案57号	福生市印鑑条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	下記記事を参照
議案58号	福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	下記記事を参照
議案59号	福生市都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	
議案60号	福生市手数料条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	印鑑証明書などをマイナンバーカードでコンビニ交付する際、窓口では無料の方も有料になる。コンビニ手数料の分だけ市の手数料収入も減る。
議案61号	平成29年度福生市一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	
議案62号	平成29年度福生市下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	
議案63号	福生市営プールの指定管理の指定について	○	○	○	○	○	指定管理業者のこれまでの実績は評価できる。
陳情29-7	「消費税10%への増税中止を求める意見書」提出を求める陳情	○	×	×	○	×	8%引き上げで世帯の個人消費が年34万円も減少。国の税収も減少。10%は暮らしも財政も破壊。
議案67号	福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	都人事委員会勧告に沿ったものである
議案66号	福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	下記記事を参照
議案64号	福生市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	都人事委員会勧告に沿ったものである
議案65号	福生市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	下記記事を参照
議案68号	平成29年度福生市一般会計補正予算（第5号）	×	○	○	○	○	66号・65号と同様の理由で反対
議員提出議案	東京都受動喫煙防止条例化に関する意見書	×	○	○	×	○	受動喫煙防止の世界の流れに逆行する
陳情29-6	「日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書」提出を求める意見書	○	△	△	○	○	採択すべきであり、継続審査には反対
陳情29-5	北朝鮮のミサイルに備えた避難訓練等の実施を求める陳情書	×	△	△	×	×	核戦争にならない努力・対話こそ重要

態度表明欄の ○は賛成・採択、 ×は反対・不採択 △は継続審査 の意味

福生市印鑑条例の一部を改正する条例 反対討論 奥富

他人による悪用の心配。市の財政負担も高い

この条例改正は、コンビニにある多機能型端末機（コピー機）にマイナンバーカードと手数料を入れて暗証番号を打ち込めば、印鑑登録証明書が印刷されて出てくるというものです。

私は行政書士として、印鑑証明書が他人に悪用されて、知らないうちに不動産が処分されたり、連帯保証人にされて全財産を失ったりなどの事例を数多く見てきました。コンビニ交付では、マイナンバーカードと暗証番号が他人に詐取されてしまえば、本人確認がないので容易に入手されてしまいます。市役所窓口交付に比べて悪用されるリスクが高いといえます。また、コンビニ交付に係る福生市の財政負担も1件当たり1万円の予想で、高いコストです。メリットよりもデメリットの方が多いため条例改正です。

福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例 反対討論 池田

市長や市議の期末手当引き上げは、市民の暮らし改善の後で

この条例改正は、都人事委員会の勧告を踏まえて、福生市の一般職の職員の勤勉手当の支給割合を改定するのに合わせて、市長等の特別職の期末手当の支給割合も年間0.10か月分引き上げるものです。

市長や市議会議員の給料（報酬）や期末手当は人事委員会勧告に機械的に準ずることは正しくありません。なぜなら、市長や市議会議員は市民から選出された代表者なのですから、市職員の給与水準だけでなく、市内の中小零細企業の労働者、自営業者、年金生活者など市民全体の所得動向を考慮して決定すべきと考えます。

「景気は回復しつつある」と安倍政権を支持する人も例外なく「景気回復の恩恵は未だ地域には及んでおらず」と認めています。多くの市民が苦しい生活状況下にある今、市民の代表である市長やわれわれ市議会議員の期末手当は引き上げるべきではありません。

福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例 反対討論 池田

地方の財源不足解消は、政府の責任で財源確保すべき

この条例改正は、地方自治体の大切な財源である法人市民税の法人税割を3.7%引き下げ、その分を地方法人税として国税化して地方交付税の財源に充て、それを各地方自治体に再配分することで、自治体間の税収格差の是正を図るというものです。2014年にも2.6%引き下げており、今回は第2弾です。これによる福生市の減収額は7400万円です。これだけ大きく地方から財源を奪っておきながら、その代償措置もありません。本来、地方の財源不足は、既存の交付税財源の法定率の引き上げなど、政府の責任においてその財源を確保し、調整すべきものです。それを自治体間の財源のやり取りで調整すること自体が、国の責任を放棄しているものです。本議案の提案に当たっては、地方自治体の財政を危うくするような内容を含む以上、遺憾の態度表明があつてしかるべきでした。

福生市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 反対討論 池田

市民の暮らしを改善したのち、議員報酬の引き上げを

本議案に反対する理由は、議案第66号、市長等の特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例の所で述べたものと同様の理由です。ここでは2点申し上げます。

私ども市議会議員の報酬額が現状で十分かと申しますと、そうは認識していません。市民の中の若い世代や子育て世代の方々が、志をもって市議会議員に立候補しようと思える給与水準かと考えたとき、はなはだ不十分です。だからこそ、市民の暮らしが向上し、私ども市議会議員の給与についても堂々と引き上げを審議できるように、福生市政の充実、国政の転換に努めたいと思います。

私たち日本共産党会派は反対した期末手当引き上げ分は受け取りません。返上は禁止された寄付行為になるので、別口座に積み立て、議員の職を離れた時点で、一市民として福生市に寄付をいたします。